

令和4年度保育園評価アンケートからのご意見

児童の年齢 (クラス)	ご意見
3歳 (くいな)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2か月に一度のクラスだよりがとてもたのしみだった。 ・ 先生達が子どもの気持ちにしっかり向き合ってくれていた。どの先生も声掛けしやすかった ・ 子どもが話す職員の名前がわからなかったので、職員の写真を1人1人にして名前をひらがなで書いて欲しい。 ・ 先生が大好きで家で親のことをよくまちがえて先生の名前で呼びます。 ・ 子どもは、生活の変化にも対応して、がんばっている。 ・ お友達のことは大好きみたいです。 ・ 「意思表示できる子ども」でやりたい、やりたくないをしっかりと伝えてくれる。 ・ 「明日、グッピー行く?」「グッピー行きたかったなあ」と言います。「明日はお休み」というと「やったー」という時も「行きたかったなあ」という時もあり、本人たちの中でバランスよく保育園に通うことができていると受け取ってます。家でよく先生やお友達の話もしてくれます。「好きな物」がしっかりあり、それを「これ大好き」と言葉にできるようになっていて嬉しいです。登園時間の調整などいつも相談にのってくれてありがとうございます。おかげ様どうか仕事も続けられそうです。
4歳児 (つばめ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎日、忙しい中、連絡帳にその日の様子を書いて下さり、園での様子が想像できました。 ・ 休みが続くと「学校に行きたい」と話していました。 ・ よく先生の話をしています。 ・ 1歳児の時は心配もあったのですが、今ではすっかり自分の意思を伝えられるようになりました。 ・ コロナがまだ続く中、いろんな工夫をしてもらいながら行事を行って下さり、ありがとうございました。転園前の最後の年に発表会も見ることができてすごく嬉しかったです。1歳からの成長を思いジーンとききました。困っているなと思うと先生方から個人面談を提案して下さいたり、毎日の送迎の時間でも丁寧に対応してもらい助かりました。子どもも親もグッピー保育園が好きすぎて困っています。(笑)
4歳児 (つばめ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ お友達との関係がとても強くなっていった年でした。お迎え後の車の中で、「なにしたの?」と聞くと必ずどういう遊びをしたかを教えてくれたり、お家での鼻歌や弟を寝かしつけ(?)してくれるために歌っている歌がほぼ、グッピー保育園の園だよりで紹介されている月の歌でした。とても保育園と先生と友だちが大好きな娘です。今年度は、まだコロナ禍ではありましたが、先生方も本当にありがとうございました。
4歳児 (つばめ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナ禍中、発表会など工夫して行事を実施して下さいとても嬉しかったです。今年は、もっとおゆうぎ会などあるといいなと思いました。 ・ 家庭でも先生達の名前をよく話してくれる。
4歳児 (つばめ)	<ul style="list-style-type: none"> ・ コロナの影響で中止や縮小の中、行事を工夫して実施してくれたことに感謝します。 ・ 園内の環境美化、安全点検などは、園内に入ることができなかったので、あんまり状況がわからないです。

4歳児 (つばめ)	・1人の先生に伝えたことをちゃんと他の先生へも引継ぎしてくれていたの、とてもうれしく思いました。毎日おたより帳のメッセージを見るのが楽しみで、忙しい中、記入していただきありがとうございます。
4歳児 (つばめ)	・HPには、もっと細かく載せて欲しい。たんとんと掲載していてちょっと寂しい。 ・職員同士の伝達が上手くないことがある。忘れ物など聞いても分からない時がある。
4歳児 (つばめ)	・「子どもは、園に行くのを楽しみにしている。」の問いに対して、「休みたがる」
2歳児(くいな)	・園の情報を登園、降園の時に先生達が話してくれるのでよくわかった。
2歳児 (くいな)	・コロナで面談はなかったので、おたより帳で活動の様子はよくわかった。 ・基本的な生活習慣が身につき、自らすすんでトイレへ行きます。 ・子どもは、園に行くのを楽しみにしていて毎朝、張り切って保育園へ向かいます。 ・先生方が「教えてくれた」とお話してくれます。 ・「心身共に健康な子ども」で、体調を細かくチェックしてくれるので発熱など細かくチェックしてくれるので発熱などが少ない。 ・お友達の話をよくしてくれます。 ・自分のしたいことをしっかり伝えてくれて「意思表示できる子ども」です。 ・「自然や命の尊さを知り大切に子ども」では、お花や木の実の採集が大好きです。

園長から：

貴重なご意見をありがとうございました。

保護者の皆さんが子ども達とよく関わり、家庭での様子も伝わってきます。

園の目標である

「心身共に健康な子ども」(健康)

「友だちを大切に、協力できる子ども」(協調性、協働性)

「意思表示のできる子ども」(意見表明、交渉力)

「自然や命の尊さを知り、大切に子ども」(自然に畏敬の念を持つ、人権を重んじる、命どう宝)

に沿って子ども達の育てていることをお伝えしていただいたことに感謝いたします。この4つの子どもに育てたい目標を意識することで子ども達が心身共に健康な体づくりをし、協調性、協働性を育み、意見表明することで他者と交渉する力を養うことで平和を創造し、維持するために対話をしていく力をつけて、この大切な地球の全てのものを尊重する心を育てていけたらと願います。

危機に瀕している地球、日本、持続可能な平和な社会を構築するために

現代は、地球温暖化、環境破壊など大きな問題がクローズアップされていて2050年(27年後)には、もう後戻りができなくなる程、地球の環境は厳しくなるようです。今でも温暖化は、南極、北極の氷を溶かし続けていますが、その氷の中にある未知のウイルス、菌などが発生する恐れがあり、世界を脅かした新型コロナのような新しいウイルスの流行などが、また発生することが危惧されています。

さらにロシア侵攻によるウクライナの戦争は、世界全体の平和維持を脅かしています。日本は、食料自給自足率が37%ととても低く、資源(エネルギー、石油、食料など)を世界に頼っています。世界に紛争がなくなると日本の未来は危ういです。

そういう不安の中で生きていくためには、保育園でも家庭でも子ども達との対話を沢山していくことが「平和」につながることを意識することが重要です。「戦争の反対は、『平和』ではない。戦争の反対は、『対話』である」と言われています。世界幼児教育保育機構のOME Pは、「保育は、世界を平和にするパスポート」と言われるぐ

らい乳幼児教育、保育は「持続可能な平和な社会」を構築するためにとっても重要です。

日本がこれから子ども達のために取り組んでいくこと

今、日本は「静かな有事」と呼ばれている「少子・高齢化」が襲ってきています。若い方々が明るい未来を描けないので子どもを産むことを躊躇していると聞きます。ちなみに米国は、日本のように社会保障制度は充実していませんが、子どもがいる多くの親は、子ども達の未来のことを考え、周りをつなぎ、政治に関心をもちながら社会に関わっていくことが「しあわせ」と考えているそうです。

令和5年4月1日から新たな行政組織として、こどもが、自立した個人としてひとしく健やかに成長することができる社会の実現に向けて、こどもと家庭の福祉の増進・保健の向上等の支援、こどもの権利利益の擁護を任務とするこども家庭庁を創設。子どもの権利条約では下記を基本としています。

- 全てのこどもが尊重され、基本的人権が保障され、差別的扱いがされないこと。
- 全てのこどもが適切に養育され、生活を保障され、愛され、保護されるなどの福祉の権利が等しく保障されること。また、教育の機会が等しく与えられること。
- 全てのこどもが年齢や発達に応じて、自分の意見を表明できる機会が確保されること。
- 子育ては家庭が基本であり、父母などの保護者が第一の責任を負う。十分な養育が家庭で困難な場合、こどもの養育環境を確保する。
- 家庭や子育てに夢を持ち、子育てに喜びを実感できる社会環境を整備する。

- **子どもの人権を尊重すること**
- **こどもの教育と福祉を保障すること**
- **子育てにおいては家庭が第一**

こども家庭庁創設の背景

- ① 深刻な少子化
- ② コロナ禍で加速した児童虐待やいじめ問題
- ③ 日本の子どもの低い幸福度
- ④ 親の子育て負担の増加

取り組む政策

- ① ライフステージ事に希望が持てる社会を目指す
- ② 全ての子どもに安全、安心な環境を提供する
- ③ 全ての子どもの健やかな成長を保障する

子育ては、子どもと共に自分を育て、ひいては、私たちが住める地球環境を沢山の方々と手を取り合ってよくしていくことだと実感していただけたら嬉しいです。今年度も大人が笑ってしあわせに暮らしながら、子ども達の笑顔を絶やすことがないように共に生活していきましょう。アンケートの回答、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願いします。